

いつも現場に足を運び 住民の声を聞く

道理ある論戦が 全国をも動かす

■労働局テキスト訂正させる

島根労働局が実施していた就職支援セミナーで、「面接のときに、給料・残業・休日について聞いてはならない」としていた箇所について、知事は「不適切」と答弁し、労働局に改善を申し入れました。このテキストは16府県で使われており、島根での告発が全国を動かしました。

■不当通知を撤回へ

県立安来高校において、「授業料未納の生徒には卒業証書を渡さない」と通知した文書を告発。知事は「受け取る保護者への配慮が欠けており、不適切」と答弁。この問題は、全国ニュースとなり、他県でも是正がはかられました。(右は、尾村質問の新聞報道)



シャープな論戦で
県議会をリード

8年前、県議会はマスコミから「監視機能の役割を放棄」と批判されていました。それが、尾村県議誕生とともにガラリと変わりました。この4年間の尾村県議の奮闘ぶりを見てみると…。

福祉・医療・教育…

■国保料の引き下げ、介護の充実を



国保料未納者に対する預貯金、給料の差し押さえの中止、保険証の取り上げ中止を要求。県として無保険者の実態調査を実施することとなりました。(写真は生活相談で)

全国一高額な介護保険の情報公表手数料(6万円)の引き下げを要求し実現。介護福祉士養成の奨学金貸与制度を創設しました。

正規教職員の増員を要望。県は、募集人員を30人程度増員し、正規採用の教職員を多くし、臨時講師を減らすよう努力すると答弁しました。

雇用・中小業者・農業…

■営業と生活を守るために全力

業者の仕事確保を求め、ついに住宅リフォーム助成制度を実現しました。派遣切り対策としては、「緊急雇用対策・庁内連絡会議」を設置させ、県として県内企業の緊急実態調査を実施させました。



派遣労働の抜本改正を要求(写真は青年とともに県へ申し入れ)。

県単独の野菜価格安定対策を拡充させ、口蹄疫問題では畜産農家への石灰の無料配布と相談窓口を設置させました。

建設的提案で県政動かす

原発・環境・まちづくり…

■「高い水」押し付けやめよ

斐伊川水道事業(尾原ダムからの受水)では、積算根拠としてきた人口増加による需要は「ゼロ」であることを明らかにし、需要予測の誤りをはっきりさせました。島根原発では、耐震安全性や安全管理体制を鋭く追及。県庁に3名の耐震問題の専門家を配置。

大手前通り拡幅では、石組み水路や裁判所のソテツ、クロマツ、石垣の保存が決まりました。中国、四国、九州の17県で、非核宣言をしていないのは、島根だけであることを告発。島根県で非核自治体宣言が決議されました。(写真は松江市竹矢・意宇川調査)



オール与党の中、唯一の野党 発言力=ナンバーワン



尾村県議は、唯一の野党議員として、公共料金の値上げ、税金のムダづかいを厳しくチェック。また、質問・討論回数(2007/6～2010/9)もダントツの1位。(右記は、松江選出県議の比較)

| | | 質問/質疑・討論 |
|-------|--|----------|
| 尾村 利成 | | 14回/22回 |
| A議員 | | 14回/2回 |
| B議員 | | 14回/1回 |
| C議員 | | 14回/0回 |
| D議員 | | 11回/0回 |
| E議員 | | 8回/0回 |
| F議員 | | 7回/0回 |
| G議員 | | 3回/0回 |
| H議員 | | 3回/0回 |
| I議員 | | 1回/0回 |